

■令和4年度外部点検シート（第2次系島市長期総合計画施策2次評価一覧表）

※令和3年度実施事業分評価及び令和5年度施策の方針

R3実績が
目標に
達成:△
未達:▼

施策責任者である部長による5段階評価
ランク/A（順調）
ランク/B（概ね順調）
ランク/C（やや課題がある）
ランク/D（大きな課題がある）
ランク/E（抜本的な改善が必要）

基本目標	政策	通し番号	施策	施策統括課	指標NO	施策に関する目標達成指標	単位	現状(R1)	R3実績	R3計画	R7目標	R3指標進捗	施策ごとの令和3年度実施計画事業	総合評価	【二次総合評価の所見】 ※評価の理由とR4に実施することなど	R5の施策の方向性	総合計画審議会からの主な意見 (取り組みや手法の改善策など)	
基本目標3 みんなの命と暮らしを守るまちづくり	(1) 災害対策	17	施策① 地域の防災力の強化	危機管理課	48	地域で活躍する防災士の数	人	50	163	107	326	△	・ 校区避難所運営訓練事業	B	防災士の養成は計画以上に進んでいる。防災士の活躍により、コロナ感染症の影響で遅れている地域の防災訓練を加速化させる。さらに、個別避難行動計画の策定まで見据えて、避難行動要支援者名簿と見守り台帳の一本化を検討する。	地域の防災訓練は、育成した防災士が活躍する場を設けながら、継続して行うことで、地域防災力の向上につなげる。災害備蓄物資については、令和5年度に供用開始される総合運動公園が災害拠点として機能するよう、避難者用のベットやパーテーション、備蓄物資などの必要な整備を行う。		
					49	防災訓練等を実施した自主防災組織数	組織	117	118	126	163	▼						
	18	施策② 防災・減災基盤の整備	危機管理課	50	情報収集・情報伝達手段の導入・維持	媒体	7	8	7	9	9	△	・ 消防救急デジタル無線更新事業 ・ 通信指令施設更新事業 ・ 消防団装備整備事業 ・ 消防団準中型免許取得事業	B	コロナ禍で、地区防災計画の策定は進んでいないが、九州大学との連携により、令和4年度は5行政区で作成する。また、大規模自然災害に備え、リスクや最悪の事態を回避するための「国土強靱化地域計画」を策定する。さらに、内閣府認定の地域防災マネージャー（自衛官OB）を任用。専門的な識見を災害対策に活用する。	地区防災計画を策定した行政区を増やすため、タイムラインの作成までを促していく。新庁舎において新たな災害対策本部が確実に機能するよう、必要な環境整備を行う。令和4年度に策定する系島市国土強靱化地域計画に基づく事業を着実に実施する。		
				51	地区防災計画を定めた行政区の数	行政区	0	0	5	25	▼							
	(2) 消防・救急の充実	19	施策① 消防力の強化	警防課	52	消防団員数（実員）の維持	人	994	993	995	995	995	▼	・ 消防救急デジタル無線更新事業 ・ 通信指令施設更新事業 ・ 消防団装備整備事業 ・ 消防団準中型免許取得事業	A	消防団員数や違反防火対象物の改善は高い水準で成果を維持しており、今後も団員確保や改善に努める。鎮火所要時間については、計画値を上回っているが、消防団、消防隊共に全力で対応しており、今後も少しでも早く鎮火できるよう訓練等を継続していく。	今後も消防団員数（実員）を確保していく。違反処理により重大違反対象物の改善率を上げていく。通報から鎮火までの所要時間平均35分を目指していく。消防団員の年間報酬の改定を検討している。このことで、消防団員の処遇改善を図る。	
					53	重大違反防火対象物の改善率（改善件数/通知件数）	%	90	82	100	100	▼						
54					通報から鎮火までの所要時間（平均） ※火災鎮火後に通報があり、消防隊による消火の必要がなかった事案を除く	分	42	43	35	35	▼							
20		施策② 救急体制の充実	救急課	55	救急車の現場到着所要時間（平均） ※H30全国平均は、8.6分で増加傾向	分	7.5	8.5	7.5	7.5	7.5	7.5	▼	A	コロナ感染症の影響で、救急隊の防護準備に時間を要しているが、今後もより速い現場到着を目指し、訓練等を継続していく。応急手当普及員講習受講者数は、計画以上の成果があり、R4も同取組みを引き続き実行していく。	救急車の適正利用の啓発、応急手当普及員の講習を継続して実施する必要がある。5台目の救急車の配置を検討している。この運用を開始することで、救急体制の充実を図る。救急車の適正利用の啓発をさらに推し進める。このことで、救急車の現場到着時間の短縮を図る。		
	56			応急手当普及員講習受講者数（累計）	人	12	36	12	60	△								
(3) 防犯・交通安全の推進	21	施策① 地域の防犯力の向上	危機管理課	57	地域での青バトや夜間巡回などへ参加したことがある市民の割合（市民満足度調査）	%	38.6	34.6	39.0	43	43	▼	・ 防犯灯LED転換事業	B	これまでの取り組みにより、市内の犯罪発生件数は、目標と比べ大幅に減少した。青バトや夜間の巡回については、犯罪抑止につながるため、市民の参画と協働を推進し、コロナ禍で控えていた安全安心いとしまネットワークの取り組みを活性化させる。また、防犯灯の設置・改修や防犯活動の支援を行い、地域の防犯力の向上を図る。さらに、防災、防犯、景観維持のため、特定空き家の認定と家屋解体の補助制度をあわせて検討し、地域の安全性向上を目指す。	地域住民や関係団体による参画と協働で犯罪を抑止し、地域の安全性を高めていく。特定空き家の認定から行政代執行までの業務の流れを系統立てて整理・確立し、空き家対策特別措置法に基づき適正な処理を進める。		
				58	新規防犯灯設置数（累計）	基	0	76	110	550	▼							
				59	市内の犯罪発生件数	件	407	240	390	350	△							
	22	施策② 交通安全対策の強化	危機管理課	60	交通事故発生件数	件	351	249	340	300	300	300	△	B	交通事故は減少し、目標を上回ってはいるが、飲酒運転の検挙件数は減っていない。安全安心いとしま協働ネットワーク等と連携しながら、粘り強い啓発で、安全運転と交通安全の取り組みを推進する。	飲酒運転検挙件数は、ほぼ横ばいであるため、粘り強い啓発活動が必要である。コロナウイルス感染症流行下においても持続可能な啓発活動を確立するため、街頭啓発の手法等を見直しした上で実施する。		
				61	飲酒運転検挙件数	件	13	13	0	0	0	▼						
				62	支援策を活用して運転免許証を自主返納した高齢者の人数	人	420	318	420	500	▼							

基本目標	政策	通し番号	施策	施策統括課	指標NO	施策に関する目標達成指標	単位	現状(R1)	R3実績	R3計画	R7目標	R3指標進捗	施策ごとの令和3年度実施計画事業	総合評価	【二次総合評価の所見】 ※評価の理由とR4に実施することなど	R5の施策の方向性	総合計画審議会からの主な意見 (取り組みや手法の改善策など)
------	----	------	----	-------	------	--------------	----	--------	------	------	------	--------	------------------	------	-----------------------------------	-----------	-----------------------------------